



プラグイン1.0(3)以前のインストールと UCS ドメインの登録

この章は、次の項で構成されています。

- [プラグインのインストール \(VRealize Orchestrator 7.0 向け\)](#) , 1 ページ
- [プラグインのインストール \(VRealize Orchestrator 6.x 以前向け\)](#) , 2 ページ
- [UCS ドメインの登録](#), 3 ページ

プラグインのインストール (VRealize Orchestrator 7.0 向け)

はじめる前に

VMware vRealize Orchestrator 7.0.x をインストールします。VMware vRealize Orchestrator 7.0.x のインストールまたは 7.0.x へのアップグレードについては、『[Installing and Configuring VMware vRealize Orchestrator](#)』を参照してください。

手順

- ステップ 1** Cisco.com の Cisco UCS Management Partner Ecosystem ソフトウェアのダウンロードサイトから、VMware vRealize Orchestrator 用の UCS Manager プラグインをダウンロードします。ファイルはローカル ダウンロード フォルダにダウンロードされます。

- ステップ 2 vRealize Orchestrator クライアントにログインします。
- ステップ 3 [Orchestrator Control Center] をクリックします。
- ステップ 4 アプライアンスのインストール時に付与されたログイン クレデンシャルを入力します。
- ステップ 5 [Plug-Ins] まで下方方向にスクロールし、[Manage Plug-Ins] をクリックします。
- ステップ 6 [Manage Plug-Ins] ページで、[Browse] をクリックして配布可能な zip フォルダが保存されているフォルダに移動し、フォルダから .dar を選択します。[Open] をクリックします。
- ステップ 7 [Install] をクリックします。
インストールされているプラグインが [Plug-In] リストに表示されます。
インストールが完了したら、変更を有効にするために Orchestrator を再起動します。
- ステップ 8 [Startup Options] をクリックして、Orchestrator を再起動します。
ホーム ページから Orchestrator を再起動することもできます。
- ステップ 9 [Startup Options] ページで、[Restart] をクリックします。
再起動後、vRO サーバにプラグインが完全にロードされるまで数分かかります。

プラグインのインストール (VRealize Orchestrator 6.x 以前向け)

はじめる前に

VMware vRealize Orchestrator 5.1.x、5.5.x、または 6.0 がインストールされている必要があります。

手順

- ステップ 1 Cisco.com の Cisco UCS Management Partner Ecosystem ソフトウェアのダウンロードサイトから、VMware vRealize Orchestrator 用の UCS Manager プラグインをダウンロードします。
- ステップ 2 ブラウザを開き、`https://<orchestrator_ip>or<hostname>:8283` にアクセスします。
インストール手順については、『[Installing and Configuring VMware vRealize Orchestrator](#)』を参照してください。
- ステップ 3 vRealize Orchestrator の Web 設定ツールにログインします。
- ステップ 4 左ペインで、[Plug-Ins] をクリックします。
- ステップ 5 [Install new plug-in] 領域で、[Browse] アイコンをクリックします。
- ステップ 6 配布可能な zip フォルダが保存されているフォルダに移動し、フォルダから .dar を選択します。
- ステップ 7 [Open] をクリックします。
- ステップ 8 [Upload and Install] をクリックします。

プラグインがインストールされ、インストールされたプラグインのリストに表示されます。このプラグインの横のチェックボックスがオンになっていることを確認します。[Apply Changes] をクリックします。

- ステップ 9** プラグインを有効化するには、左ペインで [Startup Options] を選択し、[Restart Service] または [Start Service] をクリックします。
サービスをすでに起動しているかどうかに応じて、[Restart Service] または [Start Service] オプションのいずれかが表示されます。

再起動するとプラグインのインストールが完了し、インストールされたプラグインの横に「Installation OK」メッセージが表示されます。この更新完了メッセージが表示されるまでに数分かかります。

- (注) [Plug-Ins] タブの対応するプラグインのチェックボックスをオンまたはオフにし、[Apply Changes] をクリックして、プラグインを有効または無効にすることができます。変更の適用後にサーバを再起動します。

UCS ドメインの登録

ワークフローを使用した UCS ドメインの登録

手順

- ステップ 1** vRealize Orchestrator クライアントにログインします。
ステップ 2 ツールバーの [Workflows] をクリックします。
ステップ 3 [Cisco UCS Manager Workflows] > [Configuration] > [Add a UCS Domain Instance] に移動します。
ステップ 4 [Start Workflow] アイコンをクリックして、次のフィールドに入力します。

名前	説明
UCS Hostname/IP	UCS ドメインの IP アドレスまたはホスト名
Username	UCS ドメインのユーザ名
Password	UCS ドメインのパスワード
Use Unsecure Connection (HTTP)	Cisco UCS Manager へのセキュア接続を使用するかどうか
Port	ポート番号

- ステップ 5** [Submit] をクリックします。
UCS ドメインが登録され、[Add a UCS Domain Instance] タブに表示されます。

設定ツールを使用した UCS ドメインの登録



重要 このタスクは、VRealize Orchestrator バージョン 7.0 より廃止される予定です。ただし、以下の手順で引き続きタスクを実行できます。

手順

- ステップ 1** vRealize Orchestrator クライアントにログインします。
- ステップ 2** [Orchestrator Control Center] をクリックします。
- ステップ 3** アプライアンスのインストール時に付与されたログインクレデンシャルを入力します。
- ステップ 4** [Plug-Ins] まで下方方向にスクロールし、[Legacy Configuration] をクリックします。
- ステップ 5** クレデンシャルを入力して、VMware vRealize Orchestrator Configuration にログインします。
- ステップ 6** [UCS Manager Plugin (x.y.z)] をクリックします。
- ステップ 7** [New UCS Domain] タブをクリックします。
Cisco UCS ドメインの画面が表示されます。
- ステップ 8** 次を入力します。
- [UCS Hostname/IP] : UCS ドメインの IP アドレスまたはホスト名。
 - [User name] : UCS ドメインのユーザ名。
 - [Password] : UCS ドメインのパスワード。
 - [Connection Port] : ポート番号。
 - [SSL] チェックボックス : Cisco UCS Manager へのセキュア接続を使用するかどうか。
- ステップ 9** [Register] をクリックします。
UCS ドメインが登録され、[UCS Domains] タブに表示されます。
プラグインには次のオプションも用意されています。

ボタン	説明
Edit	UCS ドメインを編集できます。
Delete	UCS ドメインを削除できます。

ボタン	説明
Test Connection	<p>登録した UCS ドメインの接続をテストできます。</p> <p>初めて UCS ドメインを追加する場合は、[Test Connection] をクリックすると、SSL 証明書を追加するように要求されます。ブラウザでポップアップブロッカーが無効になっていることを確認します。</p>

